

# 東京進出極上の

県産高級ブドウ「ルビーロマン」は20日、東京都中央卸売市場大田市場で初競りに掛けられ、仲買人ら約200人が見守る中、40房が競り落とされた。1房5万円の最高値を付けたルビーロマンは、東京・赤坂の東京ミッドタウン内にある高級青果店に並べられ、約2時間後に売れた。卸売業者の東京青果によると、ルビーロマンは、宮崎産マンゴー以来の注目度といい、1房6千〜5万円で次々に競り落とされた。午前中には都内の百貨

初値5万円

## ルビーロマン



店や高級青果店の店頭にお目見えした。東京青果の川田一光

社長は試験栽培のころから目を付けていたといい「これほど極上の味のプロウはない。5年越しの恋が実った」と興奮。生産者団体ルビーロマン研究会の大田昇会長(かほく市二ツ屋)は「東京で高い評価をもらい、励みになる」と喜んだ。9月下旬まで1500房の出荷を見込む。

## 燐き

石川県訪中団に同行し、4年ぶりに中国を訪れた。まず印象に残ったのは異常な暑さ。上海では気温が40度を超え、こ

### デスノ日誌

れまで体験したことがない熱風を浴びた。暑気の過熱ぶりも尋常ではなかった。建設ラッシュは相変わらずで、不

### 強気の中国人

動産価格が急騰し、政府が抑制策を講じるほどである。インフラ整備が進み、日本の新幹線に似た高速鉄道の乗り心地は悪くなかった。気になる暑気の先行きについては「人口が多いから、まだまだ高成長は続く」「政府がマクロ経済をしっかりとコントロールしているから、大きく崩れない」などと楽観論ばかり。中国人から慎重な見方を聞くことはなく、皆強気だった。自信あふれる中国人の発言を裏付けるように、4〜6月期の名目GDPは、中国が日本を逆転した。訪中団は行く先々で中国の成長ぶりに目を見張ったが、暑気のいい話ばかり聞かされると、どこか危れを感じてしまふ。(清水隆行)

# 09年度は44億7400万円に

2009年度の県税収入決算で、滞納税額は前年度比6・1%増の44億7400万円余となり、4年連続で増加した。4年間の増加額は12億2300万円に上った。税源移譲で規模が膨らんだ個人県民税の滞納が増え続けているのが主因。県は、個人県民税を徴収する市町と連携を強めるが、不景気が追い打ちを掛け、増加傾向に歯止めは掛かっていない。

## 潮流

いしかわ

不景気追い打ち

09年度決算の滞納額の内訳をみると、08年度からの繰り越しが30億8600万円、09年度の新規発生が13億8700万円。個人県民税が前年度比15・5%増の28億5600万円と増えたのに対し、個人県民税以外は7・2%減の16億1800万円と減少した。

# 県税の滞納増止まらず

繰り越された滞納額は09年度当初、42億1800万円あったが、9億100万円を回収。さらに時効や取り立て不能の不能欠損額が1億8100万円、調定減額が5000万円あり、合計で11億3200万円が圧縮された。

一方、09年度に発生した新規の滞納は個人県民税が9億5500万円以最も多く、個人県民税以外は4億3200万円だった。

県は滞納整理目標額を2005年度から設定し、滞納額の縮減に取り組んでいる。市町が原則、

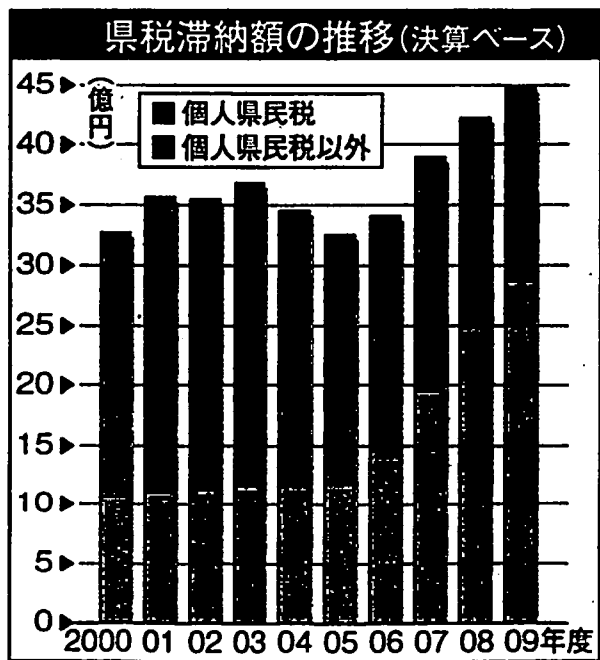
## 個人県民税が押し上げ

徴収を担当する個人県民税以外は6年連続で減少。これに対し、個人県民税は税源移譲で課税額が膨らんだことが影響し、5年連続で増加している。

### 市町と連携強化

個人県民税の徴収率を向上させるため、県は市町の徴収作業を県が代行する直接徴収や、県税職員と市町職員の相互派遣事業などで市町との連携強化を図っているが、「不景気になると、滞納は増える傾向にある」（県税務課）とされ、増加傾向は続いている。県は「市町とも連携し、地道に滞納整理に取り組んでいくしかない」（税務課）としている。

4年で12億円



# 国や県に44項目提案

金沢開発協 学生交流街整備など

金沢開発協議会の総対する44項目の提案事  
会「写真」は21日、金 項をまとめた。「拠点  
沢市のホテル日航航 性を高めるまちづく  
て開かれ、来年度予算 り」として、歴史都市  
編成に向けた国、県に 認定事業の推進や金沢



「船頭はどうなる」  
出す格好に。

は、金大工学部移転跡  
地の活用や公立小中  
学校職員の人事権移譲  
などを要望。「日本海  
時代のまちづくり」と  
して、北陸新幹線や金  
沢港などの整備促進を  
掲げている。

会長の山出保金沢市  
長があいさつし、奥田  
建民民主党衆院議員ら  
が祝辞を述べた。同  
協議会は9月4日に民  
主真運、10月25日には  
谷本正憲知事にそれ  
ぞれ要望活動を実施す  
る。

重点要望を確認  
金沢港期成同盟会  
同盟会の総会は21日、  
金沢市のANAクラウ

ンプラザホテル金沢で  
開かれ、大浜多目的国  
際ターミナルや金石・  
大野埋立用地の整備促  
進を求める重点要望事  
項が確認された。

会長の山出金沢市長  
は金沢港の国際コンテ  
ナ貨物取扱量が回復基  
調にあり、今年上半期  
(1～6月)は過去最  
高を記録したことに触  
れながら、「港湾整備  
は極めて重要であり、  
厳しい状況だが機能強  
化のために国に理解を  
求めていかなければな  
らない」と強調した。

奥田衆院議員もあいさ  
つし、総会後には北陸  
地方整備局の東山茂次  
長を講師に招いて記念  
講演が開催された。

## 「船頭はどうなる」

メリットは？

○…金沢開発協議会総会で  
国、県への提案事項が了承され  
ると、副会長の宇野邦夫真議が  
「重要課題をやっていく」と言  
っても、船に荷物を積んだだけ  
で、船頭はどうなるのか」と発  
言。今秋の市長選まで6週を屈指  
すかどつかの態度を依然として  
明かしていない山出  
氏に「やるのかやう  
ないのか、考えを披きしても  
らわないと、むなし」と迫っ  
た。これに対し、山出氏は「市  
議会を通じて市民の皆さんにお  
話するのが市長の立場だと思  
う」とはへりかした。共産を除  
く各政党・勢力の真議、市議が  
出席した総会でのこの「コマ  
は、市長選をめぐる駆け引きが  
既に本格化している」とを映し

○…金沢港整備促進期成同盟  
会の総会で議長を務めた下沢佳  
充真議は議事進行を終えると、  
金沢港が国の重点港湾に選定さ  
れたことについて「今まで以上  
のメリットについてのはいい  
い何なのか」と唐突に質問。こ  
れに対する真議部の答  
弁は「現状維持とい  
いますか…」と何とも幽切れが悪  
く。政権与党への当て付けであ  
ることは明らかだったが、この  
やり取りを聞いていた民主の奥  
田衆院議員は総会後に下沢氏に  
駆け寄り、「真議はちゃんと説明  
してあるんだな」とまもって真側  
の説明が悪かったかのような口  
ぶり。重点港湾をめぐる与野党  
攻防は、いまひとしおあまわす。

22. 8. 21  
北国(朝・夕)  
国際交流課

## 9月補正予算案 23日から 知事裁定

県9月補正予算案の  
知事裁定が23日、企画  
振興部を皮切りに始まる。

る。6月補正予算以降  
の情勢変化に対応した  
事業が盛り込まれる。  
具体的には災害復旧  
関連や、9月下旬から  
の北米訪問団派遣費な  
どが計上される。回予  
算案は31日、真議会各  
派に内示され、9月6  
日開会の真議会9月定  
例会に提出される。

22. 8. 21  
北国(朝・夕)  
国際交流課

警 署

# 新本部長に藤村氏

## 宮園氏は警視庁に転出

警察庁は20日、石川  
県警本部長に北海道警  
務部長兼札幌市警察



藤村博之氏

部長の藤村博之氏(46) 86(昭和61)年4月  
を充てる26日付人事を  
発表した。宮園司史真  
警本部長(49)は警視庁  
生活安全部長に転出す  
る。  
藤村氏は広島県出身  
で東大法学部卒。19  
年8月から現職。

宮園氏は08年8月に  
石川県警本部長に就任  
した。刑事部に刑事企  
画課、警務部に人材育  
成課をそれぞれ新設  
し、捜査員の育成や若  
手警察官の早期戦力化  
を図る体制を強化し  
た。

# 今春から回復傾向

## 伏木富山港のロシア向け中古車輸出



中古車を運んで試験航行したニュー・ドン・チュン号。24日から定期便化する＝7月7日、富山県高岡市の伏木港で

## 定期貨客船再開 追い風なるか

込みや、五年以上たった中古車の関税をおおむね八割程度引き上げるロシア政府の措置により、〇八年十月から輸出額が減少。〇九年の輸出額は前年比90.6%減の約六十三億円になった。

富山県署によると、〇八年三月時点で二百六十八あった中古車販売業者は今年六月には百六十八まで減り、三十一社は休業している。伏木富山港とロシア・ウラジオストク港を週一回往來していた貨客船「ルーシー号」の運航も、今年に入ってから打ち切られた。

ところが、四一六月の伏木富山港のロシア向け自動車輸出は前年同期比ほぼ二倍の約三十二億八千四百万円に回復。七月に試験通航した韓国籍の貨客船「新東春(ニュー・ド

## 「ロシアの政策次第」不安消えず

ン・チュン)号」が二者によって大きな補手十四日から開港、ウラジオストクから寄港する。同県射水市のパキス

それでも、貿易関係者や県内業者は不安げだ。ロシア政府が関税を引き上げを続けていることに加え、九月に「VINコード」と呼ばれる十七けたの車体識別番号のない車の通行禁止措置を始める方針を示しているからだ。

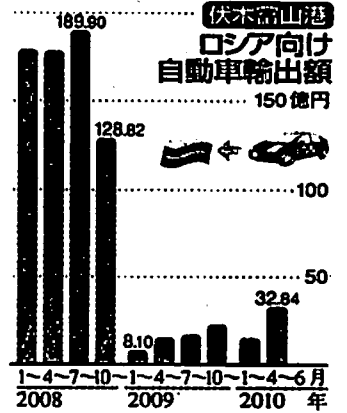
同県射水市のパキス タン人業者も、定期貨客船再開について「ある程度輸出があるから来るわけで、いことだ」と話すもの。最近の輸出増加に「規制強化のうわさによる駆け込み需要が大きいのでは」とみる。輸出業者約三十社でつくる対露車商

管理協会の栗林光雄会(シエトロ)の広報担当者は「局長(同市)も」結当者は「欧米では適用局はロシアの政策次されてるが、日本の第一歩は踏み始めな中古車は十二けたで対ロシア不安を口にしている。実施されれば業

界気の悪化やロシア政府による輸入車に対する関税引き上げで、一昨年から急激に落ち込んだ伏木富山港を拠点とした富山県のロシア向け中古車輸出業。今春から輸出額が回復し、定期貨客船の再開も決まって追い風が吹く。しかし、ロシアの関税引き上げは継続され、九月には日本車規制に乗り出す恐れもあり、貿易関係者や県内業者は危機感を持ちながら動向を注視している。

(佐久間博康)

大阪税関伏木税関支で、ピークの二〇〇七



# 日中韓旅行者倍に

## 5年後、2600万人 観光相会合が声明

【杭州共同】中国で開かれていた第5回日中韓観光担当相会合は22日、2015年に3カ国を相互に訪問する旅行者数を2600万人にするという目標を盛り込んだ共同声明を発表した。目標は09年実績1350万人の約2倍。観光を成長戦略の柱に掲げる日本には追い風で、文化や医療など新しい観光商品の開発にも弾みがつきそう。前原誠司国土交通相は「3国のさまざまな強化につながる成果を強調した。日中韓の交流人口は、国際的な景気後退や新型インフルエンザなどの影響で08年、09年は減少しているが、10年には第1回会合

人の約2倍。観光を成長戦略の柱に掲げる日本には追い風で、文化や医療など新しい観光商品の開発にも弾みがつきそう。前原誠司国土交通相は「3国のさまざまな強化につながる成果を強調した。日中韓の交流人口は、国際的な景気後退や新型インフルエンザなどの影響で08年、09年は減少しているが、10年には第1回会合

ることなどを挙げた。月に始めた。緩和の結果を1年間みて検証する。前原氏は会合後の記者会見で、中国人の観光ビザ発給要件のさらなる緩和について「7

# 日中韓観光2600万

15年目標に

担当相会合

15年目標に

【杭州（中国浙江省）】日中韓の観光担当大臣による会合が22日、中国浙江省杭州であり、3カ国間を行き来する訪問者を2010年の1700万人から、15年には2600万人まで拡大するとの目標を盛り込んだ共同声明を採択した。戦略の柱に掲げる速に増え続ける旅行者客を取り込めることを目指す。会合に出席し、

効果のみならず、

### 共同声明のポイント

- 2015年に2600万人を目標として、3国の交流人口の持続的拡大に最大限努力する
- 観光プロモーションの協力を進め、3国の国際イベントを通じて旅行市場を拡大する
- 医療、スポーツ、映画・テレビ、アニメ、ファッション、飲食など観光資源の開発と利用に協力する
- ビザ、出入国手続きの迅速化に継続的に努力する
- 大規模な自然災害発生時の観光客の安全確保と被災者の支援を行う
- 地球環境保護意識を高める

症流行は、感染共有者

## 日系会社、扱い可能に

中国人の訪日旅行、年内にも

【杭州共同】前原誠 偉国家観光局長と会  
司国土交通相は21日、  
中国を訪問し、浙江省  
杭州市で日中韓観光担  
当相会合に先立ち邵琪  
請した。邵局長は「法

改正の準備をしてい  
る」などと答え、早け  
れば年内にも実現する  
可能性を示した。

会談後、前原氏は記  
者団に「日本の会社が  
最も観光ルートを開拓  
しており、(訪日の)  
リピーターの人にもさ

さまざまな旅行プランを  
提供できる」とメリッ  
トを強調した。  
羽田空港から21日午

前に上海に入った前原  
氏は、上海駅から蘇州  
駅(江蘇省)まで最高  
営業速度が時速300  
\*以上の高速鉄道に乗

車し、中国の鉄道技術  
を視察。新幹線の海外  
売り込みで中国がライ  
バルとなってきたこと  
には「日本は効率性、  
安全性すべて兼ね備え  
ている」と自信を示し  
た上で、中国、韓国とも  
競争しレベルが上がる  
ことに期待を示した。

さらに前原氏は「日  
本では新幹線(の新規  
増工)が望まれている

# 日韓併合条約

# 「当時は有効見解封印」

## 菅政権、韓国に配慮

菅政権は、韓国の統治権を日本に譲与するとして一九一〇年の日韓併合条約締結に際し「当時の国際法に照らし、有効だった」とする従来の政府見解に言及せず封印する方針を固めた。政府関係者が二十一日、明らかにした。「強制的に結ばれた条約で無効だ」と主張する韓国への配慮が必要と判断したため。政府見解見直しについては「一六五年の(国交正常化以来の日本の主張を覆すことになる) (外務省幹部)として感じない。」「関連②面、社説⑤面

## きょう調印から100年

条約調印から二十二年いまいにする姿勢は議論で百年。菅政権は未論を呼びこいだ。来志向の関係を強化す 政府関係者による方針だが、見解をあつと、菅直人首相と岡田克也外相は先の併合百年首相談話を検討する過程で、九五年十月に村山富市首相(当時)を承認。ただ、韓国が

**日韓併合条約** 韓国の一切の統治権を天皇陛下に譲与すると明記した条約。一九一〇年八月二十三日に寺内正毅韓国統監と大韓帝国の李完用首相が漢城(現ソウル)で調印し、同月29日に発効した。太平洋戦争終了後に韓国が独

立するまでの35年間、日本による韓国の植民地支配が続いた。65年締結の日韓基本条約によつて、併合条約以前のすべての条約の無効を確認した。併合直前の09年に初代韓国統監の伊藤博文をハルビンで暗殺した安重根は、現在も韓国で英雄視されている。

時(が)「当時の国際関係等の歴史的事情の中で法的に有効に締結され、実施された」として「この答弁直後に猛反発した経緯を踏まえ、公言しないことになした。」

韓国の批判を受けて村山首相も国会答弁から「条約は有効」との文言を外した経緯がある。しかし、小泉、安倍内閣は条約の有効性を認めた政府答弁書を閣議決定しており、自民、民主両党の保守系議員が反発する可能性もある。

政府見解を封印するのは、併合百年を迎えた韓国国内で、植民地

支配への全面謝罪を求め、世論が高まったため。岡田氏は二十日の記者会見で、現在の

日韓関係の土台になつていて、六五年締結の日韓基本条約に「もはや無効」(第二条)との表現が盛り込まれていない点に言及した上で「これに何か付け加えるべきものがあるとは考えていない」と指摘。併合条約の有効性を問う質問への直接的な回答を避けた。「もはや無効」との表現は当時、双方が意見対立を残したまま「あいまい決着」させられるために編み出したとされる。岡田氏の発言は「この経緯を念頭に置いたものだ。菅首相も今日十日の記者会見で、韓国へのおわびと反省を表明した首相談話について「日韓基本条約の考え方を踏襲した」と説明している。



タイ大使に小島氏

政府は20日午前の閣議で、駐タイ大使に小島誠二外務省儀典長、駐スウェーデン大使に渡辺芳樹元社会保険庁長官を充てるなどの人事を決めた。いずれも発令は20日付。

【ニューシランド大使】三田村 秀人氏(みたまら) 71歳、大卒、71年外務省、朝鮮半島工務局長(KEPCO)事務局長を経て07年7月から駐サンチアゴ大使。東京都出身。

【バチカン大使】山口 英一氏(やまぐち) 72歳、大卒、72年外務省、ストラスブルク総領事を経て07年9月から駐コスタリカ大使。61歳、神奈川県出身。

【オーストリア大使】岩谷 滋雄氏(いわたに) 73歳、大卒、73年外務省、駐ドイツ公使を経て07年8月から駐チニア大使。59歳、愛知県出身。

【オーストリア大使】岩谷 滋雄氏(いわたに) 73歳、大卒、73年外務省、駐ドイツ公使を経て07年8月から駐チニア大使。59歳、愛知県出身。

【パプニューギニア大使】橋本 隆夫氏(はしもと) 72歳、大卒、72年外務省、メタラ総領事を経て07年6月から官房副長官。61歳、石川県出身。

【オランダ大使】肥後 隆夫氏(ひご) 72歳、大卒、72年外務省、駐オランダ大使を経て07年4月から10年8月まで官房副長官。61歳、東京都出身。

【タイ大使】小島 誠二氏(こじま) 72歳、大卒、72年外務省、駐タイ大使を経て07年7月から儀典長。62歳、愛知県出身。

【カメルーン大使】原田 有洋氏(はらた) 72歳、大卒、72年外務省、駐カメルーン大使を経て07年7月から10年7月まで文部科学省国際事務局長。58歳、広島県出身。

【スウェーデン大使】渡辺 芳樹氏(わたなべ) 75歳、大卒、75年外務省、駐スウェーデン大使を経て08年7月から広報文化交流部長。58歳、福岡県出身。

【オーストリア大使】橋田 昭子氏(はしだ) 72歳、大卒、72年外務省、駐オーストリア大使を経て07年3月からチェンマイ総領事。60歳、愛知県出身。

【カタール大使】門間 健次郎氏(かどま) 75歳、大卒、75年外務省、駐カタール大使を経て08年7月から広報文化交流部長。58歳、福岡県出身。

【スウェーデン大使】渡辺 芳樹氏(わたなべ) 75歳、大卒、75年外務省、駐スウェーデン大使を経て08年7月から広報文化交流部長。58歳、福岡県出身。

【国連教育科学文化機関(ユネスコ)政府代表部大使】木曾 功氏(きぞ) 74歳、大卒、74年外務省、駐ユネスコ大使を経て07年9月から駐シニア共和国大使。60歳、東京都出身。

【国連政府代表部大使(次席)】児玉 和夫氏(こじま) 76歳、大卒、76年外務省、駐ロサンゼルス大使を経て08年1月から外務省副長官。57歳、大分県出身。

【ケニア大使】高田 裕久氏(たかた) 76歳、大卒、76年外務省、駐ケニア大使を経て08年9月から駐チニア大使。62歳、千葉県出身。

【ケニア大使】高田 裕久氏(たかた) 76歳、大卒、76年外務省、駐ケニア大使を経て08年9月から駐チニア大使。62歳、千葉県出身。

【コロンビア大使】鈴木 一展氏(すずき) 73歳、大卒、73年外務省、駐コロンビア大使を経て07年8月から駐チニア大使。60歳、静岡県出身。

【ミャンマー大使】高橋 隆夫氏(たかひし) 74歳、大卒、74年外務省、駐ミャンマー大使を経て08年12月から駐チニア大使。61歳、東京都出身。

【ポルトガル大使】田宮 博雄氏(ののみや) 74歳、大卒、74年外務省、駐ポルトガル大使を経て07年9月から駐シニア共和国大使。60歳、東京都出身。

【ブラジル大使】三輪 昭氏(さわ) 75歳、大卒、75年外務省、駐ブラジル大使を経て08年9月から駐ポルトガル大使。60歳、大阪府出身。

【ベトナム大使】岩谷 滋雄氏(いわたに) 73歳、大卒、73年外務省、駐ベトナム大使を経て08年9月から駐チニア大使。62歳、千葉県出身。

【ベトナム大使】岩谷 滋雄氏(いわたに) 73歳、大卒、73年外務省、駐ベトナム大使を経て08年9月から駐チニア大使。62歳、千葉県出身。

【ウズベキスタン大使】黒田 隆久氏(くろた) 75歳、大卒、75年外務省、駐ウズベキスタン大使を経て09年4月から独立行政法人国際協力機構理事。62歳、兵庫県出身。

【ミャンマー大使】高橋 隆夫氏(たかひし) 74歳、大卒、74年外務省、駐ミャンマー大使を経て08年12月から駐チニア大使。61歳、東京都出身。

【エチオピア大使】藤野 博之氏(ふじの) 75歳、大卒、75年外務省、駐エチオピア大使を経て07年8月から内閣府国際調査室長。67歳、東京都出身。

【シリア大使】鈴木 敏郎氏(すずき) 77歳、大卒、77年外務省、駐シリア大使を経て08年7月から駐チニア大使。68歳、千葉県出身。

【ベトナム大使】岩谷 滋雄氏(いわたに) 73歳、大卒、73年外務省、駐ベトナム大使を経て08年9月から駐チニア大使。62歳、千葉県出身。

【ベトナム大使】岩谷 滋雄氏(いわたに) 73歳、大卒、73年外務省、駐ベトナム大使を経て08年9月から駐チニア大使。62歳、千葉県出身。

【チリ大使】佐野 利男氏(さの) 77歳、大卒、77年外務省、駐チリ大使を経て08年7月から軍需不拡散・科学部長。58歳、千葉県出身。

【シリア大使】鈴木 敏郎氏(すずき) 77歳、大卒、77年外務省、駐シリア大使を経て08年7月から駐チニア大使。68歳、千葉県出身。

【エチオピア大使】藤野 博之氏(ふじの) 75歳、大卒、75年外務省、駐エチオピア大使を経て07年8月から内閣府国際調査室長。67歳、東京都出身。

【シリア大使】鈴木 敏郎氏(すずき) 77歳、大卒、77年外務省、駐シリア大使を経て08年7月から駐チニア大使。68歳、千葉県出身。

【ベトナム大使】岩谷 滋雄氏(いわたに) 73歳、大卒、73年外務省、駐ベトナム大使を経て08年9月から駐チニア大使。62歳、千葉県出身。

【ベトナム大使】岩谷 滋雄氏(いわたに) 73歳、大卒、73年外務省、駐ベトナム大使を経て08年9月から駐チニア大使。62歳、千葉県出身。

【パナマ大使】水城 隆夫氏(みずき) 75歳、大卒、75年外務省、駐パナマ大使を経て07年2月からチニアン大使。59歳、福岡県出身。

【シリア大使】鈴木 敏郎氏(すずき) 77歳、大卒、77年外務省、駐シリア大使を経て08年7月から駐チニア大使。68歳、千葉県出身。

【エチオピア大使】藤野 博之氏(ふじの) 75歳、大卒、75年外務省、駐エチオピア大使を経て07年8月から内閣府国際調査室長。67歳、東京都出身。

【シリア大使】鈴木 敏郎氏(すずき) 77歳、大卒、77年外務省、駐シリア大使を経て08年7月から駐チニア大使。68歳、千葉県出身。

【ベトナム大使】岩谷 滋雄氏(いわたに) 73歳、大卒、73年外務省、駐ベトナム大使を経て08年9月から駐チニア大使。62歳、千葉県出身。

【ベトナム大使】岩谷 滋雄氏(いわたに) 73歳、大卒、73年外務省、駐ベトナム大使を経て08年9月から駐チニア大使。62歳、千葉県出身。

【チニア大使】岩谷 滋雄氏(いわたに) 73歳、大卒、73年外務省、駐チニア大使を経て08年9月から駐チニア大使。62歳、千葉県出身。

【チニア大使】岩谷 滋雄氏(いわたに) 73歳、大卒、73年外務省、駐チニア大使を経て08年9月から駐チニア大使。62歳、千葉県出身。

# 北風抄

世界経済を厳しい不況に陥れたリーマン・ショックから、もうすぐ2年。この時から世界経済を覆う霧は今も一向に晴れる気配がなく、むしろ最近逆になんぞと濃くなっているように見える。

もっとも、昨年から今年の春までの1年余りは、各国が行った積極的な財政・金融政策のおかげもあり、その美談の有無はともかくとして景気の回復が続いてきた。日米独などの先進国は、エコポイントのような住宅や家電・自動車の購入助成策や公共投資で需要を喚起し、中国では、財政政策と同時に実施された金融緩和により、不動産投資が一段と活発化し

た。これら一連の対策は2年前、金融システムの大混乱とともに消失した人々の購買意欲の回復に少



## 保護主義の危うさ

佐々木 雅也

(野村総合研究所 加賀市出身)  
主任エコノミスト

なからず貢献したと言える。ところが先進国は現在、景気対策の効果が減退しつつあるなかで、大きく膨らんだ財政赤字や不安定な政治情勢の方に目が行き、新たな政策に二の足を踏んでいる。一方、中国などでは、逆に金融緩和が効きすぎて不動産市場の

将来の価格上昇を信じ、ローンを組んで住宅や不動産に投資していった今回のバブルの構図は、かつての日本と全く同じである。その傷が癒やされるには、これも日本と同じように、バブルに踊った人達が借金を返し、バランスシートの修復を終えることが必要だ。

このような経済環境のなか、欧州諸国はギリシャ問題に見舞われたこともあって、今は財政再建に舵を切り、その代わりに通貨安を利用して輸出を拡大させることで景気を維持しようとしている。

しかし、世界経済が減速し需要が増えないなかで、通貨安政策で

投機色があまりに強くなり、政府はその沈静化に躍起だ。まがりなりにも、この1年の世界経済を支えてきたこのエンジンが、同時に止まる危険性が出てきている。

更に欧米では、今回の不況の根本原因である住宅・不動産バブルの傷がまだ全く癒えていない。

露骨に輸出を増やそうとすれば、他国も通貨安や保護主義的な政策を取る可能性はより高くなる。そうなるど、1930年代に世界を襲った混乱が再び起きないとも言切れなくなってしまう。

今、世界経済を覆う霧が濃くなっていると感じるのは、目先の景気減速懸念だけでなく、こうした保護主義の動きが世界に広がる危険性が、少しずつだが高まってきているように思うからである。

足元の日本経済は、欧米の通貨安の煽りを受けて円高が進行しており、そこから景気への懸念が広がっている。今の日本経済は輸出が回復の起点になっているから円高の影響は確かに大きい。現政権は目先の円高対策に終始せず、更に視野を広げ、設備投資減税や教育・研究投資の拡大など、国内需要を根本的に増やす政策に積極的に取り組むべきである。